

K295.8
201218

17

港台書



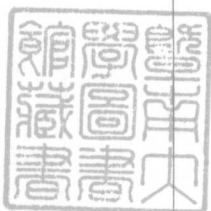
臺灣方志集成

清代篇——第一輯

(17)

高賢治主編

澎湖廳志
(全)



宗青圖書出版有限公司 印行

唐序

臺灣文獻叢刊第一六四種

是也；自乾隆朝修者，「臺灣府志」、「鳳山縣志」是也；自嘉慶、道光、咸豐朝者，「臺灣縣志」下「彰化縣志」、「噶瑪蘭廳志」是也；最近自同治朝，「淡水廳志」是也。其新設之未有志者府、廳、州、縣十，則臺灣、臺北府、基隆、埔里社廳、臺東直隸州、恒春、淡水、臺灣、苗栗、雲林縣是也；其改設之未有志者府、縣五，則（昔臺灣府）今之臺南、（昔臺灣、噶瑪蘭廳）淡水、噶瑪蘭廳（今之安平、嘉義、新竹、宜蘭）是也。未有志者，林豪始之。通判潘懷卿（文鳳）終成之。澎湖故有正、續二「紀略」，繼長增高，其爲力易也；然而非勸政、知治要者不爲，或爲之未必產於成，則易而非易也。夫知府、縣者，當知其府、縣事；通判之有地與民者，其山川、城郭、險易、形勢、農田、水利、今昔變革、戶口耗息、金穀充絀、武衛舟橋、文教舉廢之制節，孰不當考其源流而職之不忘以施之有裨也，非志無以爲功也。志有助治功，是爲之不可不底於成，尤不可缺於難成而准價不爲也。

臺灣志存者，莫先「諸羅」，亦莫善於「諸羅」；「府志」淑自「諸羅志」，今「澎湖志」

澎湖廳志

林豪

唐序

光緒十有八年，臺灣始輯「通志」，檄三府。新舊志有自康熙朝修者，「諸羅縣志」是也；自乾隆朝修者，「臺灣府志」、「鳳山縣志」是也；自嘉慶、道光、咸豐朝者，「臺灣縣志」下「彰化縣志」、「噶瑪蘭廳志」是也；最近自同治朝，「淡水廳志」是也。其新設之未有志者府、廳、州、縣十，則臺灣、臺北府，基隆、埔裏社廳，臺東直隸州，恒春、淡水、臺灣、苗栗、雲林縣是也；其改設之未有志者府、縣五，則（昔臺灣府）今之臺南、（昔臺灣、諸羅縣，淡水、噶瑪蘭廳）今之安平、嘉義、新竹、宜蘭是也。甚矣！文獻之闕而不足取徵也。

澎湖亦未有志，教諭林卓人（豪）始治之，通判潘儀卿（文鳳）終成之。澎湖故有正、續二「紀略」，繼長增高，其爲力易也；然而非勤政、知治要者不爲，或爲之未必底於成，則易而非易也。夫知府、縣者，當知其府、縣事；通判之有地與民者，其山川、城郭、險易、形勢、農田、水利、今昔變革、戶口耗息、金穀充絀、武衛舟橋、文教學藝之制節，孰不當考其源流而識之不忘以施之有敝也，非志無以爲功也。志有助治功，是爲之不可不底於成，尤不可怵於難成而泄泄不爲也。

臺灣志存者，莫先「諸羅」，亦莫善於「諸羅」；「府志」淑自「諸羅志」，今「澎

潘序

皇上御極之十有八年，臺灣既開「通志」之局，大憲以澎湖故有廳乘稿本，命文鳳訪而致之，以之考獻徵文，甚盛典也。

是秋八月甫下車，聞是稿存於臺南海東書院；爰稟請臬道憲顧公將原稿發下，並於蔡汝璧廣文處檢出副本參閱之，皆志甲申以前事。至乙酉遭兵後設鎮、建城諸大端，闕焉未備。余維是書爲金門林卓人孝廉所屬草，若得孝廉始終其事，則駕輕就熟，應無枘鑿之慮矣。於是以禮爲羅，招致林君主此講席，而屬黃卿雲廣文暨蔡廣文輩，相與采獲見聞、搜羅案卷，與林君互相參訂，闕者補之、冗者刪之。計自仲冬倡辦、至年終告竣，成「廳志」十有六卷。余不敏，竊維澎湖臺、厦中流，爲海疆重地。自入國朝以來，經營締造、休養生息者百餘年於茲矣；其沙礁重險，爲向來談洋防者所莫能忽。特以地本斥鹵，經法兵蹂躪，流離瑣尾之餘，民生憔悴，何堪言狀；則夫考證舊聞以資治理，洵非緩圖。是稿出於干戈擾攘中完善如故，俾余得與林君暨二、三紳士商榷而刊行之，以發幽光於不墜、存文獻於將來；然則一編之成，亦若有數焉，不可強也。

書既成，因次其緣起於簡端。

光緒十九年孟春，澎湖糧捕海防通判皖涇潘文鳳撰。

纂修姓氏

監修：提舉銜卽補通判署澎湖糧捕海防通判蔡麟祥（澄海人）、知府銜卓異候陞候補同知直隸州調補埔裏社通判署澎湖通判潘文鳳（涇縣人）、補用同知候補通判署澎湖糧捕海防通判陳步梯（大埔縣人）。

總修：選用教諭主講文石書院林豪（金門舉人）。

協修：候選訓導蔡玉成（本廳人）、補用訓導署臺灣府彰化縣教諭黃濟時。

採訪總校：大挑教諭署臺灣府學教授郭鶚翔（本廳舉人）、增廣生陳維新（本廳人）、廩膳生薛元英、生員徐癸山。

採訪分校：候選訓導許占魁（本廳人）、廩膳生陳雁標、廩膳生許棼、廩膳生洪朝陽、生員洪捷元、林維藩、洪純仁、許晉纓、蔡時文、李煥章、許家修、陳徵湖、陳錫命、鄭祖年、呂作甘、陳精華、高攀、劉承命、黃文衡、許樹林、洪清奇、黃欽明。

命：張師平、呂升甘、刺韓華、高謙、陸承命、黃文清、符樹林、吳新杏、黃煥恩。
副：主員吳雲元、林謙蕃、吳師口、符晉熙、蔡朝文、李煥章、符寒勤、刺蕭階、刺驗
尉楊金封：刺張順華、符古遠（本縣人）、吳觀主刺蕭階、吳觀主符棧、吳觀主吳勝
、吳觀主郭元英、主員翁安山。

刺楊蘇封：大將楊耀星臺縣訓學楊姓聘饒（本縣舉人）、計實主刺蘇藩（本縣人）
副：刺張順華、蔡正勉（本縣人）、計用順華臺縣訓導計耀燁黃朝。

蘇封：張用遠、編主編文、下書劉林、葉（金門舉人）。

對蘇縣尉張映刺是尉（大計縣人）。

計同映直轄州縣蘇縣臺縣張映舉通縣尉張映番文鳳（巫縣人）、計用同映對蘇縣張映舉通縣
副：對舉通縣蘇縣張映舉通縣對蘇縣尉張映蔡繼輔（登嘉人）、映直轄事吳對劉對

纂列校刊

澎湖廳志

澎湖全圖

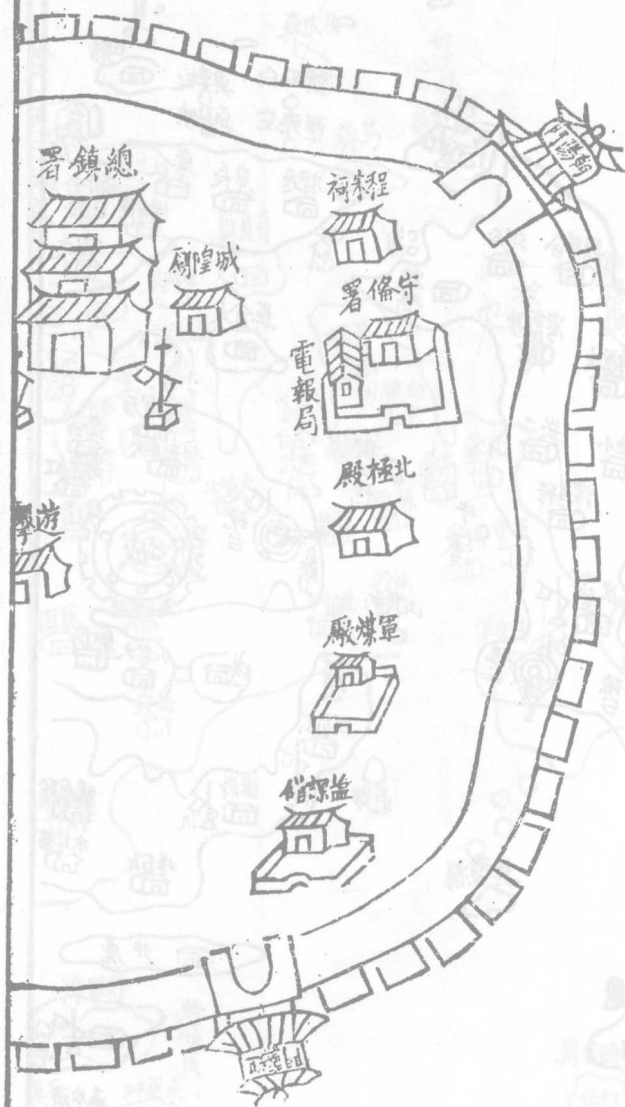
澎湖全圖

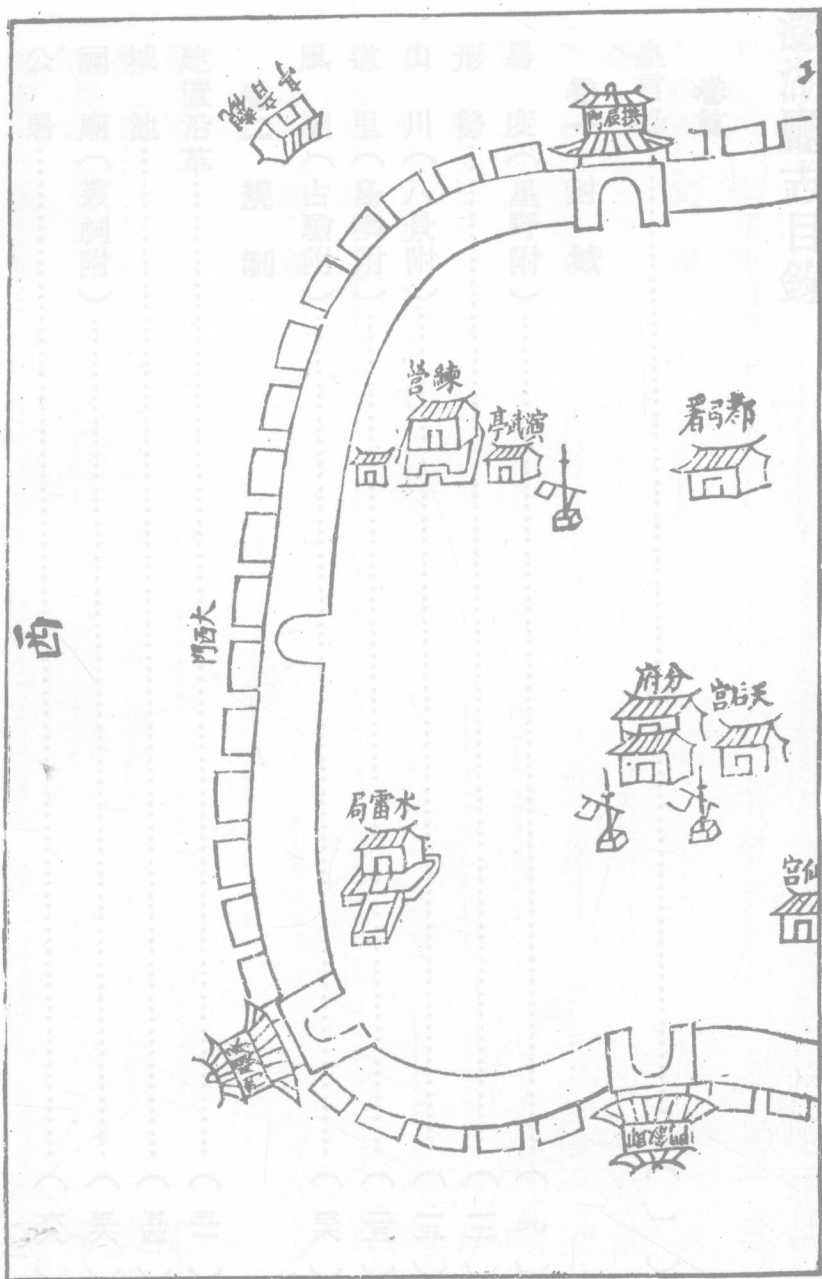




澎湖全圖

東





澎湖全圖



澎湖廳志目錄

卷首

皇言錄

卷一 封域

暑度(星野附)

形勢

山川(八景附)

道里(島嶼附)

風潮(占驗附)

卷二 規制

建置沿革

城池

祠廟(叢祠附)

公署

(一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (一百)

倉廩

.....

(充)

郵政

.....

(共)

澳社

.....

(六)

街市

.....

(三)

橋渡

.....

(三)

卷三 經政

戶口

.....

(金)

賦役

.....

(八)

雜稅

.....

(九)

鹽政

.....

(九)

度支

.....

(一〇二)

蜀政

.....

(一〇三)

卷四 文事

學校 (附賓興試館)

.....

(一〇七)

書院

.....

(一〇)